

# 石と町とアタシと



～あきねえ便り～ 9月号

こんにちは！アタシあきねえです♪

父を亡くした時、お寺のご住職に言われた言葉がきっかけになり、銀行員を辞めて「石材ケア」の道に。太い腕と、頑丈な体を武器に(！?)お墓の汚れと向き合う毎日を過ごしている。食べている時が一番幸せ。3人のやんちゃな男の子の子育てに奮闘中！

TakeShoコミュニケーションズ(株)

墓石ケア アドバイザー 浦野 明子

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保 9-16

TEL 048-699-9731 FAX 048-699-9730

HP <http://www.takesho-com.jp/>

たけしょうで検索してください！

9月、縁側での夕涼みが気持ちいい季節になりましたね。ふと空を見上げると、赤とんぼがたくさん飛んでいて、秋の訪れを感じます。この、秋風の吹くちょっぴり物悲しい季節が、一年の中で一番好きです。



施工後

青石の風合いが蘇り、スッキリ清潔になりました！＼(^o^)/



施工前

せつかくの青石が、真っ黒に…

石材ケアって、喜んでもらえる仕事というより、驚いてもらえる仕事だったって、最近気がつきました。

終了後、ご主人が満面の笑顔で、「おおっ！キレイになったね〜！こういうことやってくれる人がいるとは知らなかったよ！」

今回の施工例は、最近よく温泉でも使用されている伊豆青石で、温かみがあり肌触りがよいのが特徴です。反面、吸水率が高く、やわらかくデリケートで手入れが大変！

この夏はなぜかお風呂の案件が続きまして！ジメジメムシムシする梅雨の終わり頃から黒カビが発生しやすい時期。



さて、8月の案件です。

実はこのサビ、お墓の脇においてあった鉄製の花瓶が錆びて、全体を茶色く染めてしまいました…。完成後数か月で起きた、トラブルです。ご家族の想いを感じ、何とかせねば！と、いつも以上に真剣モードのあきねえ！施工後はご覧のとおりすっきりして、ほっとひと安心。いや〜大変でした…



施工後



施工前

しばらく、お墓の案件を掲載してませんが、もちろん、お墓もたくさん洗ってます！今回は、その中でも珍しいサビ抜き案件を紹介します！

今年の夏で、父が亡くなって三年。三回忌の法要がありました。秋田の実家に帰り、父のお墓を洗いながら…人の生き様は、死ぬ時にごそわかるものだね…と、姉と話したあきねえです…

## ウチの息子 三匹の子豚ぶ〜ふ〜う〜 (ぶ〜編)

次男のぶ〜は野球少年。板橋の代表の切符を手に入れ、6年間目標にしてきた試合のひとつ、西武ドームでのくりくり関東大会に出場した。

結果は惨敗。ただ一人、途中で交代させられた選手が、我が子ぶ〜だった。センターでピカイチの守備をする彼が、よりによって真っ正面の打球をグローブではじいた。なれないドームの照明に球が重なったようだ。で、交代。彼の代わりにでた選手を応援しながら辛かった。

ジャイアンツJrに所属し、110キロの球を投げる六年生とは思えない長身のピッチャーの球も、かすりもしなかったし、監督の判断は正しい。

試合が終わっても、アタシと目をあわせず、黙り込むぶ〜に言葉をかけられなかった…。「あんな姿を見るくらいなら、お母さんはもう野球なんてして欲しくないよ…」と、つくづく思った。

そんな想いの中、ぶ〜は練習が休みになった試合の翌朝も、朝から黙々と素振りをしている…背中に強い意志を感じ、胸が熱くなった。



石材ケア  
たけしょう